

暮らしを守る 4名の日本共産党市議団を



核兵器廃絶平和都市宣言!

2025年12月議会では、日本共産党が粘り強く要求してきた「立川市核兵器廃絶平和都市宣言」が、市議会において全会一致で可決されました。

市民の願い実現 なにより暮らし

日本共産党 永元きょう子

戦争反対、9条守れ



アメリカ・イスラエルによる無法な戦争、高市政権の改憲はじめ「戦争する国づくり」は許せません。

日本共産党は、104年前の党創立以来、国民主権と反戦平和をつらぬいてきた政党として、平和を求める国民と連帯し、憲法改悪を許さないたたかいの先頭にたって奮闘します。

力を合わせがんばります

内政でも外交でも高市政権の行き詰まりは深刻です。市民のくらしと平和をまもる先頭にたってきた立川市議団と力を合わせてがんばります。

山添 拓

参議院議員(東京選挙区)



プロフィール |
1972年立川市生まれ。
旧若葉小、立川九中、
都立拝島高校、和光大学卒。
ダンス教室経営、講師、振付師。
元都議会議員選挙候補者。
現在市議1期。
文教委員会副委員長、
青少年問題協議会委員、
立川文化芸術振興議員連盟
副会長、保護司。
趣味は温泉めぐり、ドライブ、
映画鑑賞、ヨガ。

永元きょう子事務所 |
若葉町1-12-4
042-535-8443

活動地域

若葉町、幸町
栄町、泉町



安心のまちへ

在日軍横田基地の騒音、PFASなどの問題に、市民とともに取り組んでいきます。



暮らしを守る

党市議団は2025年12月3日、酒井市長に物価高騰から市民の暮らしを守る緊急対策を申し入れました。

永元きょう子さんを推薦します

前神奈川県知事候補(2019、2023年) 岸 まきこ
元RCサクセスセッション・ベーシスト 小林 和夫
和光大学名誉教授 梅原 利夫

立川民報

日本共産党立川市委員会が永元きょう子さんの政策と見解を発表しました。
2026年5-6月号外 発行 立川民報社 立川市上砂町3-20-1

永元 きょう子

ながもと香こ

立川市議会議員

日本共産党

文化と働く人を大切にする
ジェンダー平等の立川へ

6.21 立川市議会議員選挙



永元きょう子が この4年間で実現したこと

- 平和を守る立川でいてほしい。非核平和都市宣言について質問
2025年12月18日、『核兵器廃絶平和都市宣言』
- 会計年度任用職員にもロッカーを! 庁舎の女性用ロッカー購入
- 産後ケア事業 対象者条件を外し、誰もが利用できるように
- 多文化共生への対応 庁内案内パンフレット8カ国語対応に
- 認可保育園の給食費の無償化
- 中高年の引きこもり対策の充実
- 地域内交通導入支援制度の実施



市民の声をきき
願い実現へ
これからも
全力を尽くします

わたし自身が体験した市政最大の変化は、酒井市政の誕生です。

以前の自公市政では、提案はすぐはねのけられ、答弁もしてくれないことが多くありましたが、現市長はきちんと話を聞き、これはと思ったことはとりあげてもらえるようになりました。

わたしが議会で質問した「核兵器廃絶平和都市宣言」が市政80周年の昨年、ついに実施されました。繰り返し求めてきた補聴器の購入助成制度もようやく実現できました。

いま立川市政は、市民の声と運動で動かすことができるようになってきました。日本共産党市議団の一員として、これからもみなさんと力を合わせて頑張っています。

文化と働く人を大切にする ジェンダー平等の立川へ

立川市では
日本共産党が与党だから
市政が動く

永元きょう子は3つのテーマで2期目にチャレンジ!

- 4年前にかかげた **公約** つぎつぎ **実現**
- 小中学校給食費の無償化 2024年から実現 子ども食堂補助も
- 補聴器の購入補助制度 2024年から実現 1人4万円の補助
- 公契約条例 市の事業で働く労働者の賃金確保と、働きやすい職場環境づくりへ。2025年から
- 物価高騰対策 電気・ガス等の給付金、経営改善緊急支援金、保育施設・介護サービスへの補助
- 庁内に女性相談員1名を増員

平和な未来へ

命がけで平和を貫いた日本共産党の一員として平和を守りたい

- 横田基地の危険から住民まもる
- 在日米軍の性暴力根絶を

ジェンダー平等

大学時代、「女性学」を学んだことを生かしてジェンダー平等、人権尊重の政治に変えたい

- 女性支援の専門家を増やす
- 包括的性教育の推進を

文化・芸術を楽しむ

ダンス講師・振付師の経験を生かして、誰もが文化・芸術に触れ合える街づくりをすすめていきたい

- 芸術作品の展示充実を
- 地域図書館の改善を

市民の声で動き始めた立川市
みなさんと力あわせ、**もっと前へ**